

# 序章

---



## 序章

### 1. 背景

戦後、広大な嘉手納基地を背景に基地の門前町として発展してきた本市は、昭和 49 年に「国際文化観光都市」、平成 8 年に「スポーツコンベンションシティ」を宣言するなど、国際文化・観光、スポーツ交流のまちづくりを推進してきた。

本市は、県内最大規模の 2 つの施設（コザ運動公園、沖縄県総合運動公園）が立地する恵まれた環境を活かし、プロ・アマを問わず野球やサッカー、バスケットボール等の公式試合や各種競技大会、合宿の誘致など、多くのスポーツイベントが実施されている。

なかでも、コザ運動公園では平成 22 年に沖縄市体育館、平成 25 年にコザしんきんスタジアム（沖縄市野球場）を整備するなど、さらなるスポーツ施設の充実を図り、県内プロバスケットボールチームの琉球ゴールデンキングス、プロ野球の広島東洋カープ等のプロチームに毎年利用される施設となっている。このような状況の中、本市の中心市街地の拠点施設でもあるコザ運動公園内に、これまでに培ったノウハウを活かすことのできる地域の交流・観光誘客施設として多目的アリーナ整備への機運が高まってきた。

沖縄県のリーディング産業でもある観光産業は、自立型経済を構築する上で重要な施策であり、地域特性を活かした環境整備が求められている。今後、多目的アリーナを建設することにより、全国的なイベントを誘致し、滞在型観光の大きな吸引力として県内外から老若男女が集い観光誘客施設としての将来的な需要の喚起実現のため、活力溢れる本市のランドマークとなるべく、沖縄市多目的アリーナの整備に関する基本的な考え方を示す必要がある。

### 2. 目的

多目的アリーナを整備することで、県内外からの誘客に努め、本市の滞在型観光の推進を図るとともに、地域経済の活性化に寄与する施設となるよう取り組んでいく必要がある。

従って本業務では、現況調査、事例調査等の基礎調査、外部専門家を交えた策定委員会を開催し、それらを反映した「沖縄市多目的アリーナ施設整備基本構想」を策定することを目的とする。

### 3. 内容

「沖縄市多目的アリーナ施設整備基本構想」策定業務で検討する内容は、次に示す項目である。

#### （1）現況調査

上位・関連計画、コザ運動公園の現況、関連施設・施策の動向等を調査し、現況の把握を行う。

#### （2）関連団体意向調査

ニーズ等を把握するため、関連団体を対象としたヒアリングを実施し、分析・整理を行う。

#### （3）国内事例調査

類似規模、類似目的の施設について事例調査を実施し、把握・整理を行う。

#### （4）策定委員会の開催

委員会は、関連団体から 7 名程度を選任し、平成 27 年 3 月までに 3 回開催する。

#### （5）基本構想の策定

施設整備のコンセプト、基本方針を立案し、基本構想を策定する。

#### 4. 基本構想策定までの流れ

関連団体への意向調査、事例調査などの基礎調査を基に基本方針等を立案し、外部専門家を交えた策定委員会にて検討を行い、本基本構想の策定を行った。

本調査における基本構想策定までの流れは、下記の通りである。

##### <基本構想策定のフロー>

